



# 平成30年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月7日

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3063 URL <https://www.jgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成29年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	3,734	7.8	9		8		0	
29年2月期第1四半期	3,463	1.7	33		44		44	

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 8百万円 ( %) 29年2月期第1四半期 36百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	0.06	0.06
29年2月期第1四半期	5.60	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	8,575	1,663	19.4
29年2月期	8,642	1,666	19.2

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 1,659百万円 29年2月期 1,662百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		1.50		1.50	3.00
30年2月期					
30年2月期(予想)		1.50		1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,231	4.2	0		2		6		0.75
通期	15,000	4.5	150	178.1	130	111.7	50		6.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期1Q	8,196,400 株	29年2月期	8,196,400 株
期末自己株式数	30年2月期1Q	200,035 株	29年2月期	200,035 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期1Q	7,996,365 株	29年2月期1Q	7,996,365 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資の改善、個人消費の持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続いているものの、世界経済の不確実性の高まりもあり先行きに依然不透明感を残す状況となっております。

外食業界におきましては、原材料価格の上昇や人材不足による人件費関連コストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、平成29年9月からスタートするエリア経営制度に向けた組織体制の再構築と適正な人員配置による効率化や従業員のスキル向上を目指した教育制度の充実など、業務の改善と従業員教育を進めました。

また、2店舗を新規出店し、1店舗をリニューアルするとともに、1店舗を閉店いたしました。これらにより、平成29年5月末日現在の業態数及び店舗数は、72業態145店舗(国内143店舗、海外2店舗)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,734百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は9百万円(前年同期は営業損失33百万円)、経常利益は8百万円(前年同期は経常損失44百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は0百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失44百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲食事業

原材料価格の上昇傾向が顕著となっており、仕入や物流を共同化することでスケールメリットを活かしたコスト削減に取り組みました。

主な新規出店といたしましては、平成29年3月に「きばくもん」(名古屋市中区)、4月に「名古屋丸八食堂 豊田店」(愛知県豊田市)を新規オープンし、「きじょうもん」(名古屋市中村区)をリニューアルオープンいたしました。

また、「猿Cafe TV塔店」(名古屋市中区)を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は3,409百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は159百万円(同65.9%増)となりました。

#### ② 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS刈谷」などの賃貸収入に加え、前連結会計年度に開設したテナントビル「jG金山」が収益に寄与しました。その結果、不動産事業における売上高は499百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益は41百万円(同7.9%減)となりました。

#### ③ ブライダル事業

「LUCENT Marriage Tower(ルーセントマリアージュタワー)」について、婚礼数は若干の減少はありましたが、景観・立地の優位性を活かして企業のパーティー需要で収益力の改善を図りました。その結果、ブライダル事業における売上高は187百万円(前年同期比10.6%減)、営業利益は3百万円(同74.6%減)となりました。

#### ④ その他の事業

販促制作事業及び卸売業等のその他の事業における売上高は226百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益は18百万円(同126.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,575百万円(前連結会計年度末比67百万円減少)となり、負債は6,911百万円(同64百万円減少)、純資産は1,663百万円(同3百万円減少)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ総額で324百万円減少し1,176百万円となりました。これは、現金及び預金が451百万円減少し、売掛金が85百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ254百万円増加し7,395百万円となりました。これは、新規出店等により有形固定資産が219百万円増加したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、社債発行費の増加を主因に、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し3百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ80百万円減少し2,879百万円となりました。これは、買掛金が128百万円、未払法人税等が39百万円それぞれ減少し、短期借入金が37百万円、1年内返済予定の長期借入金が35百万円それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ16百万円増加し4,032百万円となりました。これは、社債が67百万円増加し、長期借入金が24百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、利益剰余金が11百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し1,663百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月7日に公表いたしました業績予想から現時点におきましては、変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

(株主優待引当金)

株主優待費用は、従来、株主優待券利用時に営業費用として処理をしておりましたが、株主優待券の利用実績等の把握が可能となったため、当第1四半期連結会計期間末より、利用実績等に基づき翌四半期連結会計期間以降に発生すると見込まれる額を株主優待引当金として計上することといたしました。

この結果、従来の方法によった場合と比較して営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ10,000千円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	749,519	298,114
売掛金	322,467	408,027
商品及び製品	2,225	701
原材料及び貯蔵品	116,598	118,278
その他	312,674	351,045
貸倒引当金	△3,097	-
流動資産合計	1,500,387	1,176,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,379,871	3,390,283
土地	1,623,107	1,761,251
その他(純額)	591,280	662,188
有形固定資産合計	5,594,259	5,813,723
無形固定資産		
	27,102	23,540
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,220
差入保証金	1,267,858	1,300,647
その他	261,134	270,123
貸倒引当金	△17,921	△21,019
投資その他の資産合計	1,519,291	1,557,972
固定資産合計	7,140,654	7,395,236
繰延資産		
社債発行費	1,234	3,617
繰延資産合計	1,234	3,617
資産合計	8,642,276	8,575,022

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	498,441	369,940
短期借入金	3,800	41,600
1年内返済予定の長期借入金	1,131,940	1,167,411
1年内償還予定の社債	46,000	66,000
未払金	739,581	712,912
未払法人税等	65,797	26,417
賞与引当金	19,772	46,500
株主優待引当金	-	10,000
その他	455,033	438,937
流動負債合計	2,960,366	2,879,720
固定負債		
社債	46,000	113,000
長期借入金	3,386,843	3,362,075
資産除去債務	98,375	105,872
その他	484,551	451,234
固定負債合計	4,015,770	4,032,181
負債合計	6,976,136	6,911,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,068,969	1,068,969
資本剰余金	998,969	998,969
利益剰余金	△286,797	△298,289
自己株式	△76,021	△76,021
株主資本合計	1,705,119	1,693,626
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△42,417	△33,944
その他の包括利益累計額合計	△42,417	△33,944
新株予約権	3,438	3,438
純資産合計	1,666,139	1,663,120
負債純資産合計	8,642,276	8,575,022



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	3,463,728	3,734,131
売上原価	1,077,697	1,155,184
売上総利益	2,386,030	2,578,947
販売費及び一般管理費	2,419,112	2,569,927
営業利益又は営業損失(△)	△33,081	9,020
営業外収益		
受取利息	105	137
協賛金収入	21,276	28,510
設備賃貸料	2,464	4,859
その他	3,657	2,234
営業外収益合計	27,503	35,742
営業外費用		
支払利息	17,928	18,637
為替差損	13,769	9,721
その他	7,323	7,801
営業外費用合計	39,021	36,160
経常利益又は経常損失(△)	△44,598	8,602
特別利益		
固定資産売却益	1,737	-
特別利益合計	1,737	-
特別損失		
店舗閉鎖損失	14,055	33
特別損失合計	14,055	33
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△56,917	8,568
法人税等	△7,608	8,132
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△49,308	435
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,497	△66
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△44,811	502

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△49,308	435
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,408	8,472
その他の包括利益合計	12,408	8,472
四半期包括利益	△36,900	8,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,613	8,908
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,286	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	3,073,338	59,564	209,366	3,342,268	121,459	3,463,728	—	3,463,728
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	22,938	403,878	—	426,816	107,600	534,416	△534,416	—
計	3,096,276	463,442	209,366	3,769,085	229,059	3,998,144	△534,416	3,463,728
セグメント利益又は 損失(△)	96,327	44,647	13,226	154,201	7,979	162,181	△195,262	△33,081

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△195,262千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	3,388,327	56,650	186,901	3,631,879	102,252	3,734,131	—	3,734,131
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	21,044	443,183	311	464,539	124,362	588,902	△588,902	—
計	3,409,371	499,834	187,213	4,096,419	226,614	4,323,033	△588,902	3,734,131
セグメント利益又は 損失(△)	159,834	41,135	3,357	204,327	18,067	222,394	△213,374	9,020

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△213,374千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。